

乾燥剤オゾとシリカゲルの違い

原理

OZO 化学反応によりマグネシアセメントを形成し固化します。
よって、加熱等で吸収した水分を放湿しません。

シリカゲル A型、B型も物理的に水分吸着するため、吸・放湿を繰り返します。
●A型…低温度の吸湿力が優れ放湿が少ない。
●B型…高温度で多量の水分を吸い、吸水と脱水を繰り返す。

吸湿の判断

OZO 吸湿が完了すると、硬く固化して判断が用意です。

シリカゲル 肉眼では判断が不可能なので、湿気センサーを使用しますが湿気センサーは塩化コバルトを使用するため、環境汚染の問題があります。
(欧州では使用禁止)

吸湿の条件

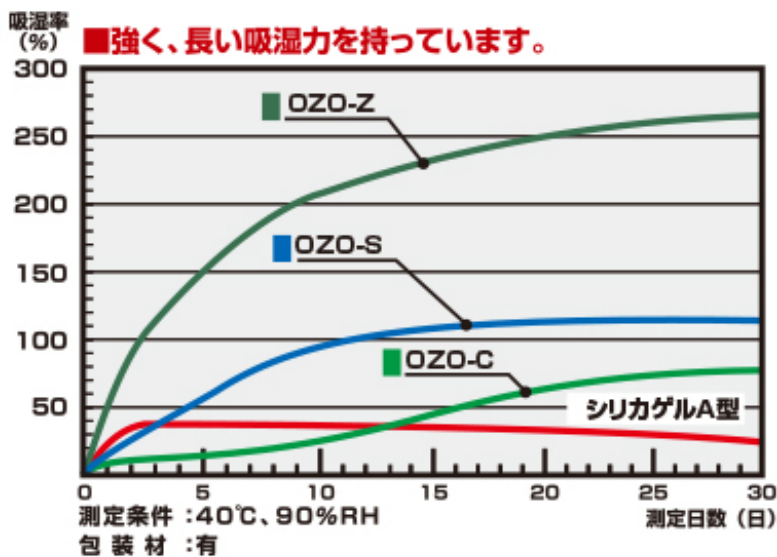
OZO 全天候型です。(低温・低湿から高温・高湿まで吸湿が可能)





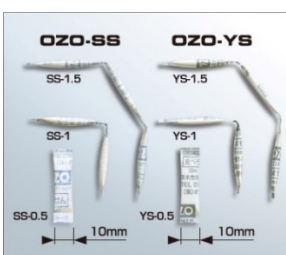
シリカゲル 低温・低湿の場合では、ほとんど吸湿しません。

吸湿の能力

OZO グレード別にシリカゲルの2倍～7倍(吸湿率70%～200%)の効果、
使用量が1/2～1/7で、シリカゲルと同等の効果があります。

シリカゲル 吸湿率30%前後です。



				
OZO-C	OZO-S	OZO-Z	オゾドライシート	OZO スティック